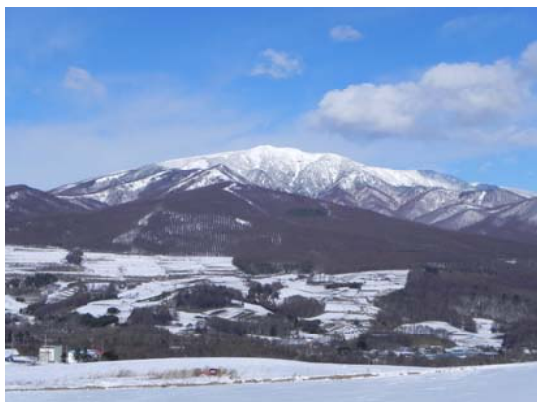


# あずまやさん 管内の百名山 「四阿山」



四阿山の山容

四阿山（標高2,354㍎）は、群馬県北西の嬭恋村と長野県上田市・須坂市との県境に位置し、壮大な裾野を持つ山です。その、ゆったりと裾野を広げた様子が屋根の形に見えることから「あずまや」の名がついたといわれており、嬭恋村では吾妻山とも呼ばれています。

また、古くから信仰の山として知られており、山頂には2祠の境界神（東側に上州祠、西側に信州祠）が祀られ、この中央の南北方向が上信国境となっています。



的岩

四阿山の中腹には、「<sup>まどいわ</sup>的岩」と呼ばれる奇岩があり、登山者を出迎えてくれます。その形状は、長さ約200㍎、高さ20㍎、厚さは2～3㍎と薄く、巨大な屏風を思わせるものがあり、その構造や火山地質学的にも非常に貴重なことから、昭和15年に国指定天然記念物に指定されました。また、的岩には、建久年間、浅間野に狩にきた源頼朝が、この珍しい岩を的にして矢を射られたという「的岩伝説」もあります。

四阿山は裾野が広く高原野菜の栽培が盛んで、嬭恋村のキャベツ、菅平高原のレタスが有名です。また、嬭恋村から上田市に通じる国道144号線の県境、鳥居峠は、太平洋と日本海とを分ける中央分水嶺となっています。

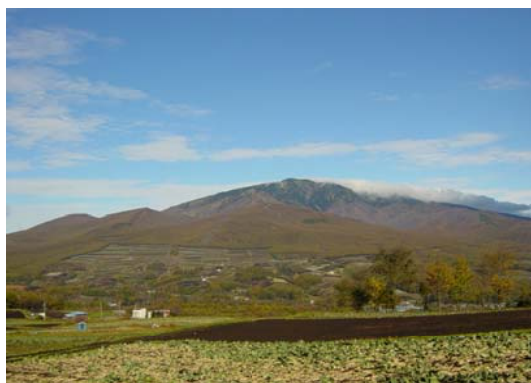
四阿山の南面には、標高1,300㍎付近までの広大な畑を境に、山頂に向かって、先達が植林してきた広大なカラマツ林があり、紅葉の時期には一面黄金に染まります。

北東には野外スポーツ施設としてバラギスポーツ林が設定され、スキー場が整備されゴンドラを利用して四阿山への登山ルートにもなっています。

山頂へは、その形状からいくつものルートがあり、群馬県鳥居峠からの登山ルートや長野県菅平高原からの登山ルートは約4時間30分で頂上に立つことができます。山頂からは、360度の展望が楽しめることから四季を通じて多くの登山者が訪れています。

吾妻森林管理署は、広大なカラマツ林との調和を考慮した施業を行い、皆さんに親しまれる四阿山を目指して、管理していきたいと考えています。

（吾妻森林管理署 広報広聴連絡官）



キャベツ畑と四阿山



鹿沢ゆり園からの四阿山